



神奈川県知事

松沢 成文氏

核家族化の進行などで、子育ての孤立化が進んでいます。企業や行政、NPO、子育て関連施設や団体などが連携・協働し、地域で支援していくことが重要です。



連合神奈川会長

白石 俊雄氏

「仕事と生活の調和推進会議」などに参加し、県内の企業や労働組合と連携しながら、ワーク・ライフ・バランスの啓蒙に努めています。



神奈川県経営者協会会長

高橋 忠生氏

一番にやらなければならないのは、企業で働く人、経営者のワーク・ライフ・バランスに対する考え方を変えていくことです。

「神奈川県子ども・子育て支援推進条例」*に基づく新たな4つの取組み 「生まれてきてよかった」「生み育ててよかった」と実感できる神奈川をめざして

* 平成19年3月制定・10月施行

■事業者の認証

従業員のための子育て支援を制度化し、仕事も子育ても両立できる職場づくりに取り組んでいる事業者を県が認証しています。

【認証要件】



- 1 育児・介護休業法で義務づけられている育児休業などを就業規則に明記していること
- 2 仕事と子育ての両立支援に関する社内の責任者を明確にしていること
- 3 子ども・子育て支援のための取組みの計画的な推進を内外に明らかにしていること
- 4 計画内容や事業活動が関係法令に照らして適切であること

■かながわ子ども・子育て支援大賞

県内で子ども・子育て支援に取り組み、地域に貢献している事業者や個人・団体の活動を表彰しています。(年1回) <受賞団体>第1回(19年度)【大賞】神奈川県生活支援ネットワーク協同組合タクシー部会【奨励賞】(特非)ワンダートンネル、モトスミ・オズ通り商店街振興組合、子育て支援ボランティアグループきらきらぼし、まちづくり工房「しお風」 第2回(20年度)【大賞】(特非)ままとんきっず【奨励賞】HappyMotherMusic、富士フィルム(株)神奈川工場、フリースペース千の夢、ぴよぴよクラブ【特別賞】子育て応援メッセinふじさわ実行委員会

■神奈川県子ども・子育て支援推進協議会

かながわぐるみの子ども・子育て支援を目指した県民運動を展開するため、県民、地域団体、事業者、行政機関等による協議会が発足しています。(平成19年10月31日)

■かながわ子ども・子育て支援月間 8月

事業者、団体、市町村等が実施する8月の月間事業の情報提供を行い、子ども・子育て支援への理解と関心を深め、活動を始めるきっかけづくりとしています。

